



地区総体終わる！

今週行われた「地区総体」、3年生にとっては3年間の集大成の大会でした。県大会出場をかけて、どの種目も熱い戦いが繰り広げられたと思います。部活動のまとめとして3年生全員に感想を書いてもらい、代表の生徒の感想を掲載します。それぞれの思いを感じてほしいと思います。さあ！1・2年生は、再スタートです。先輩方の気持ちを受止め、新たな活動をスタートさせましょう。



《サッカー部》※霧島中と合同チームで出場 6/12(火)国分海浜公園サッカー場
○予選リーグ戦 溝辺・霧島中 1-13 栗野・吉松中、溝辺・霧島中 0-14 隼人中

《野球部》 6/12(火)国分球場
○1回戦 溝辺中 1-3 国分中

《女子バレーボール》 6/12~13(火~水)牧園アリーナ
○予選グループ戦 溝辺中 0(21-25、15-25)2 重富中
溝辺中 2(25-16、25-19)0 横川中



グループ戦3位で決勝トーナメントへ進出

決勝トーナメント戦 1回戦 溝辺中 0(21-25、13-25)2 国分中

《ソフトテニス部》 6/12~14(火~木)まきばドーム

○団体戦(予選リーグ戦) 1勝2敗

溝辺中1-2帖佐中、溝辺中1-2横川中、溝辺中2-1隼人中

○個人戦 N、Nペア 3回戦進出、N、Sペア 2回戦進出

Y、Nペア 2回戦進出、T、Nペア 2回戦進出

O、Yペア 1回戦敗退



《弓道部》 6/12(火)隼人弓道場

○団体戦 3年生の部 準優勝(Y・K、E・K、S・R) ※県総体出場
2年生の部 準優勝(S・K、O・K、I・S)

○個人戦 第4位 I・S、第5位 Y・K

《柔道》 6/13(水)国分武道館 ○個人戦 I・K 1回戦敗退



『地区総体を終えて』

地区総体では、1日目の2試合とも負けてしまい、2日目に残ることはできませんでした。3月までは蒲生中、霧島中、溝辺中の3校合同チームとしてやってきて、地区総体では、蒲生中が単独、霧島中と溝辺中が合同とこれまでのチームが別れることとなりました。これまでの練習とメンバーが変わり戸惑いもありました。しかし、僕は部活動を通して、合同チームを組んで良かったと思いました。溝辺中単独では、どうしても試合には出場することができません。先生方の力を借りて合同チームを組むことができました。一緒に練習してくれる仲間や指導して下さった先生方、支えて下さった保護者の方々に感謝です。僕は、夏のU-15までサッカーを続けます。残りの時間もさらに精進していきたいです。



『弓道で学んだこと』

弓道部 I・N

地区総体へ向けての練習では、毎回半矢以上を目指し、チームの目標本数に届くように目標を立てて頑張りました。本番では、緊張してしまい、先手が動いてしまったり、会がいつもより短かったりして全然あてることができませんでした。目標にしていた半矢も、チームで12本以上を達成することができなかつたのでとても悔しかったです。次に県大会があるので悔いの残らないようにし、自分の力を全て出しきって今度こそチームで入賞できるようにしたいです。また、的中を意識してしまうので、的中より射形を意識し、一本一本に集中して丁寧に引くように心がけたいです。地区総体でできなかったところ、失敗してしまったところがあり、とても悔しい思いをしたので、同じ間違い、失敗をしないようにしたいと思います。部活動では、仲間と協力することややりきったときの達成感を学ぶことができました。とても楽しかったです。



『最高のプレーをする！』

弓道部 S・R

今回の地区総体は、今までとは気合いが違いました。負けたら最後になるので全力を尽くして戦いました。県総体への出場権を得ることはできましたが、自分の力を十分に発揮することができませんでした。なので、県総体では悔いの残らない「最高のプレーをする！」と決めました。そのために、これまで以上にもっと頑張る！と心に決めました。部活動を通して、仲間を信頼し、助け合う大切さを学ぶことができました。その中で『チームワーク』がとても重要だと思いました。チームワークの悪いチームはあまりいい結果を残すことはできません。対照的にチームワークの良いチームは「互いをカバーしよう！」とか「絶対に勝つ！」という意識が高いので必然的に良い結果が残せると実感しました。なので、後輩たちも部活の時はチームで行動し、互いの信頼関係を深め、強い溝辺中生であり続けてほしいです。

『もっと仲間と』

野球部 Y・R

地区総体を終えて・・・、もっと野球部のメンバーと野球がしたかったなあと思いました。国分中との試合では、2年半間の野球の試合で一番楽しむことができた、チーム一丸となれたような気がします。後輩たちには、この経験を活かして来年の地区総体で頑張ってもらいたいと思います。1年生のときに野球部に入り、最初は早く終わりたいとずっと思っていました。一時期、ケガのため試合に出場することができなかつたとき、早く野球がしたいという思いを強く感じました。試合に出れるようになってから、この出れない悔しさからか自然とチームのため声が出せるようになりました。最上級生になったとき、僕はキャプテンになりました。もともとメンタルは強かった方なので、キャプテンをやめたいと思ったことはありませんでしたが、チームをまとめるのは大変だなあと思いました。この2年半で団体競技の難しさや勝つことの喜びを知ることができました。来年こそは！県総体へ出場できるよう頑張ってもらいたいです。

『部活動・野球から学んだこと』

野球部 M・K

僕は地区総体最後の試合は、とても良い試合だったと思います。負けはしたもののメンバー全員、最後まであきらめずに一生懸命プレーしました。野球は怖いスポーツだと顧問の辻先生は言っていました。その言葉とおり、たった12名しかいない溝辺中が強豪の国分中に善戦しました。「野球は、強いチームが勝つのではなく、勝ったチームが強い」この言葉を後輩たちにも引き継いで、来年の地区総体では合同チームだけじゃなく県総体を目指してほしいと思います。僕たち3年生が次に頑張らないといけないのは勉強です。部活動では普段の態度がプレーに影響を及ぼすように、普段の授業から真剣にしたいと思います。中学校生活最後の試合が最高の仲間と出来たことが何よりもうれしかったです。



「もっとやっておけば！！」女子バレーボール部 T・I

地区総体1日目は、重富、横川。2日目は国分と対戦しました。私たちの目標は「県総体出場」でした。2日目のトーナメント戦へ進出することはできましたが・・・1回戦で負けてしまい、ベスト8以上の成績を残すことができませんでした。大会では本当に練習でやってきたことが発揮できずに負けてしまいました。終わってから「練習の時にもっと頑張っておけば・・・」と思いますごく悔いが残りました。目標は達成することができなかったけど、このチームでプレーできて良かったと思います。

これから新チームになる後輩には、私たちのように悔いが残らないように、まず練習の大切さを知ってほしいです。大会では自分の実力以上の力は出せません。練習面倒くさいと思わずに、自分の技術を高めたり、心を鍛えろと思え、常に向上心をもって取り組んでほしいです。部活動では、技術だけでなく礼儀や作法、日常生活の基本などさまざまなことを学ぶことができました。これらのことは受験や将来に役立つと思うので、学んだこと身に付けたことを忘れずにほしいです。

「成長した自分」 ソフトテニス部 N・R

私は地区総体を終えて、3年間一人で頑張ってきたことを全力で出し切れたのですごくいい地区総体になりました。地区総体前には1時間の自主練でレシーブを確認したり、サービスのチェックをしたりして最後の調整をしました。私はキャプテンになりいろいろ経験することで自信ができました。人をまとめたり、声だしなどできるようになり自分でも成長したと思います。不安ばかりのスタートでしたが先輩方や保護者の支えでここまでこれたと思います。1・2年生は、これからもっと大変だと思います。1年生はルールや審判など覚えないういけません。2年生は、1年後の地区総体へ向けて一球一球を大切に、これからの大会で悔いが残らないようにして頑張ってください。

